

## 学校教育目標

認め合い高め合い未来を拓く

(知) 深く学び合い 表現する子 (徳) 思いやりをもち 支え合う子 (体) 心と体を鍛え やり抜く子

## 令和6年度の重点目標

### 『自覚と協調 高め合う子どもの育成』

～基本や習慣を大切に 自覚を促し協調させて 主体性を育む～

- 目標をもって、粘り強く学ぶ <自覚：学習への関心意欲>
- 意見を交わす、気持を合わせせる <協調性：規律と思いやり>
- 心身を鍛え整え、笑顔輝かせる <共に高め合う：楽しく活気ある学校生活>

## 学校研修テーマ・副題

わかる・できるから、次も取り組みたいと思える授業づくり

～積み上げる意識の醸成～

### 【研究内容：研究方法①】

子どもが学びを積み上げられる授業作り

#### 【授業研究】

- 日常の授業改善
- 授業作りのヒントの共有→実技研修

#### 【授業公開】

- 授業交流期間の設定  
→授業を見合って考え合う

### 【研究内容：研究方法②】

自分自身で課題を解決できる力の育成

#### 【基礎的・基本的な学力の保障】

- 日々継続できる学力 UP の取組
- 安心して学習に取り組める学級経営の工夫
- 各学年で身に付けさせたい力の共有

主体的・対話的で  
深い学びの実現

学びを進めるための  
確かな学力の保障

【全国学力学習状況調査より】

児童の実態・保護者地域の願い

### +面

①ICTを活用した学習支援が行き届いている。また、児童にICT機器の活用方法がしっかりと身に付いている。②国語科の「構造と内容の把握、精査・解釈、考え方の形成、共有（聞くこと）」が身に付いてきた。③国語科の「共有（書くこと）」が身に付いてきた。

### 更に伸ばしていく点

①家庭での学習習慣の定着。②国語、算数への苦手感③算数を好まない子が一定数いる。

## 研修の時間

2024. 2. 14

①次年度の方向性について

できない→できるかも→できた→もっと

基礎学力

主体・対話・深いを根っこにした  
「わかる」授業を目指して（授業作り）

ICT活用

新しい  
教科書への対応学級経営  
(学習集団づくり)特別支援の  
視点個別最適  
協働的

# 昨年度までの研修の成果

---

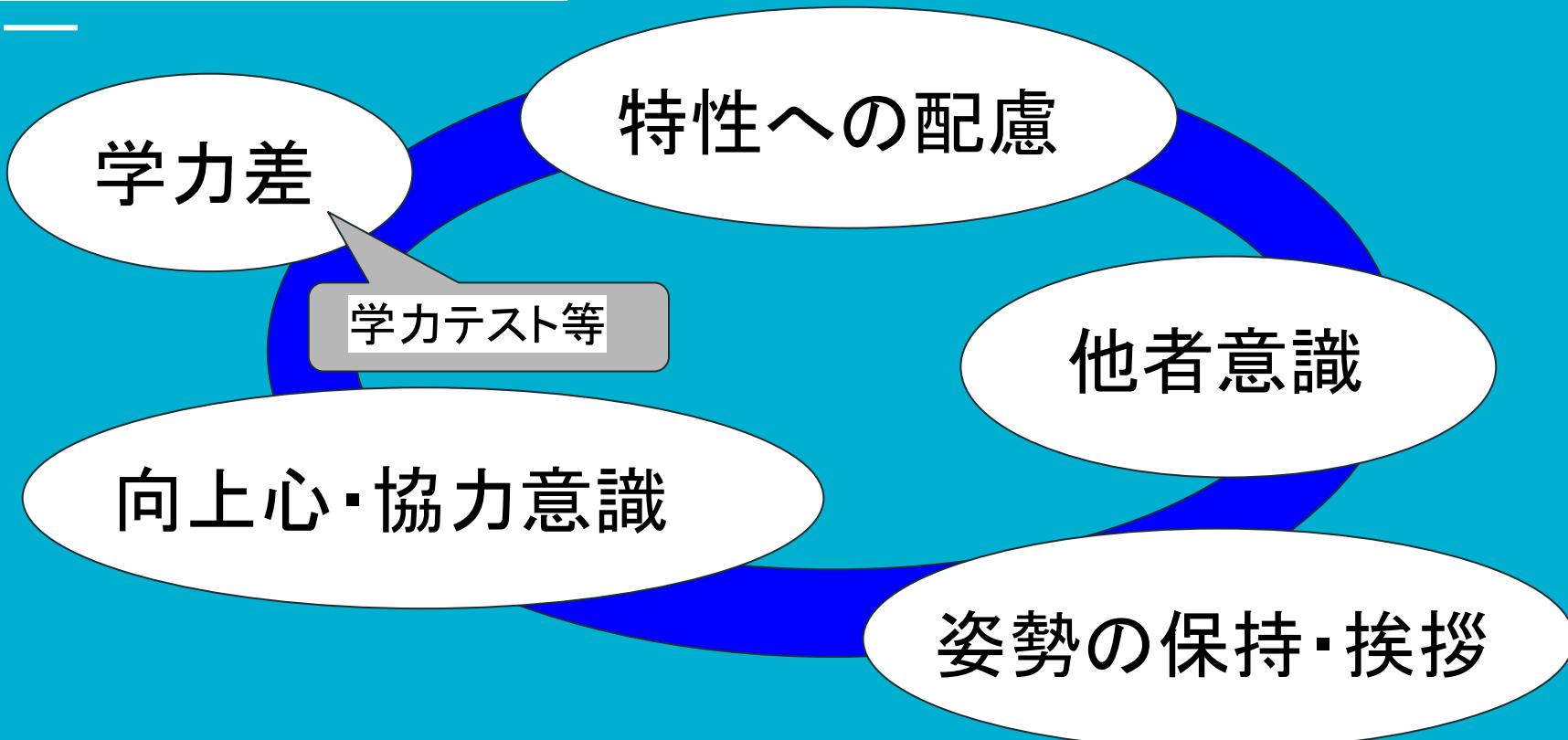
話す・聞く力の向上

学習への関心UP

授業への集中力

# 見えてきた課題

---



# 「主体的・対話的で深い学び」の更なる実現

① 自ら学びを積み上げていく

② 基礎的・基本的な学力

→課題を自分の力で解決

## 【研修テーマ】

わかる・できるから、次も取り組みたいと思える授業作り  
～学びを積み上げる資質・能力の育成～

学級集団

授業交流

学力UPの  
日常的な取組

カリキュラムマ  
ネジメント

実技研修